

タブレットPC活用授業記録

竹原市立中通小学校

□ 本時の概要

授業日	平成 25 年 4 月 17 日 (水)	学年	第 6 学年	教科等	国語科
単元名	推薦文を書こう				
本時の目標	推薦文の書き方を知り、自分の表現に生かそうとすることができる。				
活用アプリ等	エクステンジボード タッチアナライザー				

□ 本時の展開

児童の活動	主な発問・指示 (◇) 及び児童の反応 (・)	指導上の留意点 (○)
1 漢字の学習をする。 (筆順クイズ)	◇正しい筆順について考えましょう。	○エクステンジボードを使って、漢字の筆順を確かめる。
推薦文の書き方を知ろう。		
2 2種類の推薦文を読み、推薦文とは何かを知るとともに、どちらが好ましいか自分の考えをもつ。	◇どちらの推薦文がよいと思いますか？ ・ぼくはAがいいと思う。理由は… ・私はBがいいと思う。理由は… <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>文章 A みなさんは、「風切るとばさ」という物語を知っていますか。このお話はクルルのお友達について書かれた物語です。名前の二匹のアノクルルの友情に感動され、一人はつらくなり、生きることをあきらめかけていたクルル。そんなクルルを変えたのは、仲間を大切に思うカララのまっすぐな気持ちでした。 「いっしょに行ってくれるかい？」 「もちろんさ。」 生きる希望をもち、再び空へと飛び立つていく二人の姿からは、友達の大切さを感じることができそうです。今、友達関係になやんでいる人、また周りに大切な友達がいるという人は、きっとクルルとカララの思いに共感し、作品に引き込まれていくはずですよ。ぜひ読んでみてください。</p> <p>文章 B わたしは「風切るとばさ」を読んで、とてもいい話だなあと思いました。クルルが、みんなに仲間殺しの犯人にされて、仲間はずれにされてしまったとき、とてもかわいそうだと思います。わたしは泣き止まらなくて、さびしくて、泣き止まってしまうかもしれない。カララがいっしょにいてくれたおかげで、クルルはまた飛ぶことができました。キツネが飛ぶこともあったけど、やっぱりカララのおかげで、クルルは飛ぶことができたのだと思います。最後の二人がいっしょに飛んでいく場面は、とくに好きです。わたしもクルルとカララのような友達をつくっていききたいと思いました。</p> </div>	○最初は紙媒体の資料を配布する。 ○タッチアナライザーの機能を使って、どちらがよいか集計をとる。 ○Bは感想文であるということをおさえる。
3 推薦文に書くべき内容を確認する。	◇推薦文にはどんなことを書く必要がありますか？ ・大まかなあらすじ。 ・どんな人に読んでほしいか。 など	○エクステンジボードの機能を使って、2種類の推薦文を児童のタブレットPCに送信する。
4 次時の学習の見通しをもつ。	◇次の時間は自分の紹介したい本を一冊決めて、推薦文を書きます。	○考えの根拠になる部分にマーキングさせた後、送信させる。 ○自分の書き込んだ画面を開いて説明をさせる。

□ 本時の授業について (授業者のコメント)

自分の考えの根拠はどこの文にあるのか、タブレットPCに送信した文章にサイドラインを引かせる。それをエクステンジボードの機能で電子黒板に送信させれば、自分の根拠を明確にしながら、自分の考えを述べさせることができる。

